

2015年ミラノ国際博覧会 世界に出逢える祭典

145か国が参加



テーマは『地球に食糧を、生命にエネルギーを』で、人類にとって重要な『食』をとりあげる万博です。世界各国の取り組みを知り、地球規模で一緒に考える、またとないこの絶好の機会に皆様もぜひご参加下さい!

この万博ではこれまで見たことのない物や発見が待っています。それぞれの参加国が、体に良く安心な食品を地球規模で確保していくための独自の提案をしていきます。あなたも生命の大切さや素晴らしさを五感でたっぷり体験して下さい。

9 CLUSTER つのクラスター館

今回の万博での初の試み。

単独館をもたない参加国の合同展示館は、通常の大陸別といった地理的なまとまりではなく、各国の特徴である食品種類やテーマ性が一致する9つの「クラスター」とよばれる集合体別にグループ化されます。



5 THEMATIC AREAS つのテーマ・エリア

好奇心旺盛な見学者のために…

5つのテーマ・エリアでは、五感を刺激する様々な体験を通してミラノ万博のテーマを探求することが出来ます。

パビリオン・ゼロ
自然と食を通じて大地と人の歴史を知る地球内部への旅を体験。



アート&フード
芸術やアートに描かれたファンタスティックな食べ物ワールド。

バイオ・ダイバーシティ公園
生物の多様性を知る空間。植物を観察し、触れ、香りを嗅ぎ、息遣いに耳を傾けましょう。

こども公園
遊びと発見がいっぱいの空間が広がる子供のための公園。コンセプトは「地球、未来につながる」

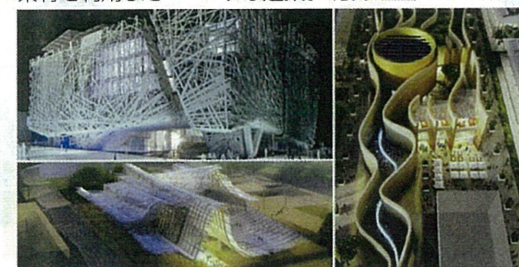
未来のフードディストリクト
ハイテクを駆使した広い空間で、見学者は生産者と消費者双方を体験。プロのシェフが協力するテクノロジー・厨房等で、食と人の対話を模索していきます。

National Pavilions

50 を超える国の 単独パビリオン

ここでご紹介するのはほんの一部。趣向をこらした主要各国の単独パビリオンを探索して面白い発見を!

イタリア館 テーマは The Nursery of Italy (イタリアの苗床)。肥沃な土地や芽吹きに喩え若力を表現。建物は、エコで持続性のある素材、リサイクル素材を利用したユニークな建築。(写真: 左上)



日本館 『共存する多様性』をテーマに、ユネスコ無形文化遺産の和食や日本食文化の知恵や技、農林水産業、食への取り組み等を紹介。イベント広場、レストランも。www.expo2015.jp

中国館 『空、大地、人類、調和』のイメージ空間を中国の伝統建築で表現。(写真: 左下)

アラブ首長国連邦館 砂壁とデジタル水脈、長さ75mの巨大映像画面が特徴。(写真: 右)



CIVIL SOCIETY 市民社会館

Civil Society 館は、12の国際機関による展示館。目的はミラノ万博のテーマでもある食糧発展への協力関係の促進です。この市民社会館の会場となるのは、イタリアの遺産でもある「カシーナ・トリウルザ Cascina Triulza」というミラノ地域の古い農村建築群の敷地内です。



チャオ!
万博マスコットのフーディーです。
ミラノで会いましょう!

5月1日開幕!

2015年10月31日まで184日間開催。10:00-23:00
会場:ミラノ市中心部から北西8kmのローRho。最寄駅は地下鉄赤のM1線等のRho-Fiera Milano駅(ドゥオーモ駅から約25分)、Trenitalia社の特急、イタロ等の鉄道新駅Rho-Fiera Milano Expo 2015(ミラノ中央駅から最速10分)。期間中は各社増便・特別運行。

チケット Ticket 情報:日本では旅行代理店各社がチケットや万博見学を含むツアー商品を取り扱っています。または、万博公式サイト www.expo2015.org、万博会場、Expo Gate 他の現地公式販売所で購入可能。料金は、大人、シニア、子供、家族、などの種類、入場日指定有無、1日/夜間、購入時期、購入方法により異なります。詳細は万博やイタリア政府観光局ホームページ、旅行代理店で。